

事務事業評価表

○基礎情報

課名		産業振興課	作成責任者
施策目標	55	多くの人々を誘う魅力あるまちづくりを支援する	青木 聡

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工
2 人	17 人	0 人	2 人	0 人	19.98 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
4,297 時間	21.1 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
市内における増加事業所数	103事業所	100事業所	105事業所	104事業所	116事業所
観光客消費額	5,335百万円	5,600百万円	4,626百万円	4,575百万円	3,623百万円
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	企業の安定的な経営支援
2	企業の立地支援
3	茅ヶ崎ブランド製品の販売促進支援
4	魅力ある商店街と個店の育成支援
5	観光資源の開発の促進
6	回遊性の確保

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める**

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない**

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)											Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれ・対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	工業振興支援事業	1	0.23	一般	1,015,000	500,000	市内事業者に対して、ホームページ等にて販路開拓支援補助制度の紹介を行った。新型コロナウイルスの影響で、展示会の多くが中止となったため実績としては減少した。	展示会の出展者数	13者	1者	C	減少		
					426,000	50,000								
2	創業者支援事業	1	0.31	一般	1,319,700	350,000	創業者または創業予定者に対し、段階に応じた支援を実施することにより市内創業者の増加を図った。具体的には経済団体と連携してビジネスコンテストの開催をするともに、創業について相談を受けていた方々への情報提供を行った。	特定創業支援事業により支援を受けたことの証明書発行件数	2件	6件	S	増加		
					991,299	300,000								
3	中小企業経営安定支援事業	1	0.41	一般	1,256,860,000	1,255,345,000	市内事業者に対して、金融機関と連携し低金利の融資をおこない、一部の融資メニューについて利子等の補助を実施し、経営基盤の確立と経営の近代化を促進した。令和2年度は多くの事業者が新型コロナウイルスに対応した無利子融資等を利用したため、市制度融資の利用実績は減少した。	融資制度の利用件数	220件	44件	A	変動なし		
					1,250,152,696	1,234,349,583								

4	産業活性化等調査研究等事業	1	0.03	一般	0	0	市内産業全般の変化を捉えた活性化方法について調査研究を行うことを見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響で具体的な検討会を実施できなかった。	検討会等の開催回数	年10回	年0回	Z	減少		
5	商工関係団体支援事業	1	0.12	一般	10,503,000	9,490,000	経済関係5団体に対して、商工業の健全な発展を図るため、対象の事務局費及び事業費の一部を補助し、商工業振興を推進した。	交付団体数	5団体	5団体	S	変動なし		
6	中小企業特許取得支援事業	1	0.02	一般	0	0	令和元年3月31日をもって、補助制度は廃止した。発明相談会を毎月第一金曜日に開催し、独自技術の開発や特許取得についての専門家相談を実施し、知的財産権取得の推進及び中小企業の技術製品開発の促進を図った。	補助金の交付件数	3件	0件	実績なし	-		
7	優良産業人等表彰事業	1	0.07	一般	105,000	105,000	社会的功績の顕著な者や企業の振興に寄与した地域企業の表彰を行った。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、優良店舗表彰は中止となった。	被表彰者・店舗の数	40人・店舗	35人・(R2優良店舗表彰はコロナの影響で中止)	S	変動なし		
8	特定退職金共済掛金支援事業	1	0.11	一般	1,878,000	1,800,000	中小企業者の人材確保と定着を図るため、申請のあった101件に、特定退職金共済掛金に対する補助を行った。	補助金交付件数	110件	101件	S	変動なし		
9	商工業振興イベント支援事業	1	0.03	一般	1,620,000	1,620,000	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	産業フェアの来場者数	39,600人	0人	Z	-		
10	さがみロボット産業特区推進事業	1	0.02	一般	0	0	産業フェアにさがみロボット産業特区ブースを設けることで、さがみロボット産業特区のPRを行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となった。	ロボット産業に取り組む企業の数	1社	0社	Z	-		
11	企業等立地等促進事業	2	0.08	一般	41,000	0	新たに市内へ進出を考えている事業者や市外事業者等に対して、支援制度のPRや説明を行うとともに、市内に既に立地している企業の設備投資等に対しても支援制度の説明等を行い、企業の立地や設備投資の支援を行った。しかしながら企業の設備投資等のタイミングは、経済状況に左右されるためコンスタントに、目標を達成することは難しい。	奨励措置適用件数	15件	5件	C	変動なし		
12	観光物産等のPR事業	3	0.04	一般	323,000	0	市の特産物等を観光案内所及び市庁舎内において展示PRし、産業振興・観光振興を図る。市民に対し、茅ヶ崎市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザ内の展示コーナーに名産品コーナー:12区画、ふるさと納税返礼品コーナー:9区画(計21区画)を設け、半期ごとの入れ替え制とし、年間42事業者の展示を行った。	年間展示事業者数	50者	42者	S	変動なし		
13	商業振興支援事業	4	0.38	一般	7,288,000	4,500,000	令和2年度は、コロナに対する取り組みを重点的に支援する事業とし周知を図った。申請は2件あり、コロナの影響を受ける飲食店に支援する申請者の取り組みに決定し、交付を実施した。	にぎわい創出事業補助金の交付件数	12件	1件	A	変動なし		
14	商店街振興支援事業	4	0.35	一般	19,391,000	16,242,000	商店街団体の管理する街路灯の維持や駐車場運営のに対し補助を行い商店街の取り組みを支援した。市内の発展的な取り組みに対し支援を実施することで商店街の魅力向上に努めた。	補助金を活用する商店街団体の数	25団体	22団体	S	変動なし		

15	道の駅整備推進事業	5	4.36	一般 繰越	540,879,000	92,515,000	最適な事業手法としてDBO方式を採用すること、さらに新型コロナウイルスが与える影響等を踏まえ、当該手法の工程を精査し、開設スケジュールを延伸することについて決定した。	整備事業の進捗	モニタリング	事業手法の決定、開設スケジュール延伸	C	増加		
					444,827,303	37,902,848								
16	茅ヶ崎海岸グランドプラン推進事業	5	0.48	一般	267,000	238,000	老朽化が進んでいた単管パイプ製の柵を木柵へ取り替えたことにより、市民・海岸利用者の安全面及び景観上の向上を図ることができた。	茅ヶ崎海岸グランドプランの総合調整協議の進捗率	100%（関係団体との意見交換12回）	100%（関係団体との意見交換12回）	S	変動なし		
					99,770	198,825								
17	茅ヶ崎西浜駐車場跡地活用事業	5	0.46	一般	0	0	時間貸しの駐車場として活用を行うとともに、今後の効果的な活用に向け事業者ヒアリングを行った。	民間活力を活かした土地活用	活用開始	暫定的な活用	A	変動なし		
					0	0								
18	観光シティプロモーション推進事業	5	0.87	一般	220,000	0	観光振興ビジョンに基づき、市内外に本市の持つ観光資源などのまちの魅力を戦略的に発信することにより、観光振興の推進と地域経済活性化を図り、域内消費を推進することで観光消費単価を引き上げた。	観光消費単価（暦年）	2000円	1996円	S	変動なし		
					205,776	0								
19	観光協会運営支援事業	5	0.54	一般	37,131,000	36,347,000	市観光協会の事務局人件費及び維持管理費の補助を行い、組織力の向上及び運営基盤の安定を図るとともに観光事業に対する補助を行い、観光振興や地域経済の活性化を図ったが、コロナ禍で自主イベントは実施できなかった。	自主イベント開催回数	4回	0回	C	変動なし		
					37,131,000	32,065,000								
20	観光誘客支援事業	5	0.51	一般	19,551,000	18,500,000	観光ガイドマップの作成やレンタサイクル事業の推進、観光案内所の人件費等運営に関する補助を行い、来訪者の市内回遊性の推進を図ったが、コロナ禍において、観光誘致が厳しい状況で、観光客数が減少となった。	延べ観光客数（暦年）	391万人	182万人	C	減少		
					19,551,000	12,901,000								
21	DMO設立支援事業	5	0.40	一般	10,527,000	12,947,000	DMO法人登録を目指し、観光協会を主体とした実施体制の構築に取り組むとともにコロナ禍においてもデータに基づくコンテンツの磨き上げや収益事業の強化に取り組み、継続的な観光振興の展開を図り、10月にDMO法人登録がされた。	DMO法人登録	8月	10月	S	変動なし		
					6,636,000	10,156,432								
22	海水浴場運営事業	5	0.27	一般	15,478,440	15,520,000	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	海水浴場入込客数	16.1万人	0人	Z	-		
					15,478,440	0								
23	観光施設整備事業	5	0.13	一般	2,249,000	1,762,000	観光客及び海岸利用者の利便性向上と、観光関連施設等の整備、維持管理のための海岸清掃は、海水浴場が中止となり利用者が減少のため、清掃回数を減らすこととなった。	海岸清掃の回数	約280回	約180回	A	変動なし		
					2,055,902	580,046								
24	観光資源の回遊性充実事業	6	0.23	一般	600,000	0	観光客に対して、回遊性の向上と滞在時間を長期化させる仕組みを関係団体等を連携協議しながら構築し、観光振興の振興を図り、新たな観光様式「茅ヶ崎ローカルツーリズム」の発行を行った。	ローカルツーリズムの発行	500部	500部	S	変動なし		
					600,000	0								

25	大岡越前祭行事支援事業	6	0.24	一般	5,015,000	5,015	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	来場者数	75000人	0人	Z	-		
					5,015,000	0								
26	花火大会行事支援事業	6	0.12	一般	9,032,000	9,032	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	来場者数	75000人	0人	Z	-		
					8,251,619	0								
27	浜降祭行事支援事業	6	0.10	一般	2,337,000	2,337	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	来場者数	75000人	0人	Z	-		
					2,337,000	0								
合計					R2予算(円)	1,467,797,384								
					R2決算(円)	1,350,537,336								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課かい一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
新型コロナウイルス感染症の影響により、事業No.1「工業振興支援事業」、事業No.9「商工業振興イベント支援事業」、事業No.10「さがみロボット産業特区推進事業」については、対象となる事業がほぼ中止となった。事業No.3「中小企業経営安定支援事業」については、多くの事業者がコロナ対応として創設された国や県の実施する無利子融資を利用した結果、市制度融資の利用は大幅に減少した。事業No.15「道の駅整備推進事業」については、令和4年3月のオープンを目指し事業を進めていたが、茅ヶ崎市財政健全化緊急対策及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大による本市財政への影響等に鑑み、国道134号改良工事といった神奈川県の仕事は着実に進めつつも、DBO方式に基づく設計、建設に係る予算計上を令和5年度以降とする等の対応により、アフターコロナを見据え地域経済活性化の起爆剤としての効果を最大限に発揮すべく、開設時期を令和7年度へ延伸することとした。事業No.22「海水浴場運営事業」、No.25「大岡越前祭行事支援事業」、No.26「花火大会行事支援事業」、No.27「浜降祭行事支援事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響ですべて中止となり、来訪者が大きく落ち込んだことで、令和2年度の入込観光客は、減少しているが、コロナ禍における周遊観光として、「茅ヶ崎ローカルツーリズム」の第1弾、第2弾の冊子を作成し、新たな観光様式としての提案を行い、回遊性の向上を図った。														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	-	新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった事業はあるものの、このコロナ禍さらにはアフターコロナを見据えた中では、地域経済活性化、観光振興に資する当該事業を含めた当課の事業全般については、その必要性は増してくるものである。引き続き、新しい生活様式をはじめとする社会情勢の変化やニーズを的確に把握し、時代に即した効果的な事業展開を図るとともに、既存事業の必要性についてもあわせて検討を重ねていく。